



教育長 高月 晴彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は宇佐市の教育行政推進に対し、一方ならぬご支援、ご協力を受け賜わり心よりお礼申し上げます。

昨年は新型コロナに始まり新型コロナに終わったような気がいたします。学校教育においては、3月からの臨時休校を含め長期休校での学びの保証をはじめ様々な問題が発生しました。しかし、このような前例のない状況にもかかわらず、先生方の一方ならぬご尽力と保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、休校で遅れた教育課程を例年に近い状態まで戻すことが出来ていることに対し、心より感謝を申し上げます。

また、社会教育でも、公民館の休館等により、各種講座やサークルなどの活動も休止せざるを得なくなりましたが、関係者のご尽力により、再開出来ている状況に感謝申し上げます。

なお、新年を迎えるにあたり、明るい話題もあります。まず、一つ目は今年度中に児童・生徒に一人1台のタブレット端末が整備されます。休校時の活用のみならず、通常学習での活用により「主体的、対話的で深い学び」につながるものと考えます。

二つ目は、宇佐市民図書館電子分館のサービス開始で、いつでもどこでも所蔵の電子書籍が読めるサービスです。ぜひとも利用してみてください。

三つ目は、小部遺跡の国指定史跡への答申です。正式に指定されれば、市内の国指定史跡は6件となり、全国に誇れる歴史遺産として、教育・観光への活用にもつながるものと考えています。

今もウイズコロナの状況は続いています。教育委員会としても、この試練を乗り越えることが、必ずや子供たちの将来にプラスになると考え、宇佐市の教育がより良いものとなるよう一層努力してまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。本年もよろしくお願いいたします。

地球未来科授業として 児童たちが調査協力しました



地球未来科授業の一環として安心院小学校と深見小学校の児童が、三和酒類株式会社と安心院高校のコラボワイン開発のための調査活動に協力しました。

このコラボワインは安心院高校の農園で栽培されたブドウを三和酒類株式会社の協力のもと加工したもので、収穫には深見小学校の5年生が参加しました。出来上がったワインの一部は、参加した児童が成人するまで安心院高校で保管されます。

また、安心院高校が行った「安心院のいいところ・好きなおとこ」のアンケート調査に安心院小学校の児童が回答し、地元を紹介する動画の作成に協力しました。作成された動画内でも児童たちの協力の様子が紹介されています。

教育委員による学校訪問

10月29日(木)、教育委員が学校訪問を行いました。今回は、院内北部小・深見小・津房小の3校を訪問し、ALTが参加する外国語の授業見学や、教職員と意見交換会等を行い、児童の学校生活や学校現場の現状と課題などについて話し合いました。



電子図書館「宇佐市民図書館電子分館」が開始!

自宅のパソコンやスマホなどで図書館所蔵の電子書籍が読めるサービスを11月26日(木)から開始しました!

インターネット環境があれば、24時間いつでも利用可能で、休館日や閉館時間を気にすることなく読書を楽しめます。

動いたり音が出たりと電子書籍ならではの仕掛けが楽しめる絵本や、食卓を彩るおかずのレシピ本など、様々なジャンルの書籍の貸出が可能です。



令和2年度中には約4,000タイトルの
豊富な資料が所蔵される予定です!
(サービス開始時点では約2,300タイトルが
貸出可能)

ご利用方法など、詳しくは宇佐市民図書館ホームページをご覧ください。



バーコードを読み取るか、
『宇佐市民図書館 電子分館』で
検索すると図書館ホームページ上の
詳細ページへ移動します。

令和2年度

小中学校体育館水銀灯球換えボランティア

毎年、株式会社九電工大分支部宇佐営業所様の「さわやかコミュニティ旬間」活動の一環により、市内の小中学校体育館の故障した水銀灯をボランティアで交換していただいています。

おかげさまで明るい体育館となり、大変助かっています。ありがとうございました！

今年度水銀灯取替校：糸口小・八幡小・駅館小・佐田小・院内中



市内の戦争遺構にたくさんの修学旅行生が訪れました

市内外の小中学生が修学旅行で城井1号掩体壕や宇佐空の郷などの戦争遺構を訪れ、平和学習を行いました。コロナ禍で小中学生の修学旅行先が県内へと変更されたこともあり、昨年度と比較して今年度の修学旅行や社会見学の受け入れ数は大幅に増加しました。

市内にはたくさんの戦争遺構があり、市教委ではその保存と活用を進めています。身近な場所でも戦争があったということを知るきっかけとして、戦争遺構での平和学習をしてみませんか？

問い合わせ先

社会教育課
平和ミュージアム建設準備室
(TEL 27-8200)



国指定史跡の新指定について小部（こべ）遺跡が答申されました！

令和2年11月20日（金）に開催された国の文化審議会において、宇佐市大字荒木にある「小部遺跡」について構造の変遷が明らかな集落遺跡として国指定史跡にふさわしいとの評価をいただき、新たに国史跡として指定するよう文部科学大臣に答申されました。

今後、正式に指定されれば、宇佐市内の国指定史跡は6件となります。

小部遺跡とは

古墳時代前期（3世紀後半～4世紀）の集落遺跡です。過去の発掘調査により、全長200m以上の2か所の突出部が付属する環濠と、その内側に柵と思われる方形区画が発見されており、豪族居館（当時の権力者が暮らした集落）ではないかと考えられています。令和元年度に行った発掘調査では、大型掘立柱建物が発見され、居館の内部が明らかとなり、学術的にもとても貴重な遺跡となっています。

発見された大型掘立柱建物跡



柵の中から発見された大型掘立柱建物は、桁行4間(8m)、梁行3間(5.6m)ありました。建物の内側にも柱が並んでおり、高床式の建物であったと考えられています。

ふるさとの食材を給食で味わいました

大分県では、平成28年4月1日に施行された「大分県食育推進条例」により、食に関する知識を深めることや地産地消を目的に、11月19日は「おおいた食（ごはん）の日」、”おおいた食の日”の週（11月16日～20日）は「おおいた食育ウィーク」と定められています。

この「おおいた食育ウィーク」期間中に市内小・中学校で提供された給食のメニューをご紹介します。

宇佐学校給食センター



イノシシ肉の
ジビエハンバーグ

牛井

イノシシやシカなどの野生動物は農作物を荒らすので駆除されてしまいます。その命を大切にするためにも、ジビエ料理としてお肉をいただいています。

南部学校給食センター



すき焼き



チキンチキンごぼう

新型コロナウイルスの影響で需要が減っている大分県産の地鶏や和牛を給食の食材として無償で提供していただきました。

冠地鶏を使用した「チキンチキンごぼう」は甘辛く味付けして揚げた鶏肉とごぼうが食欲をそそる山口県発祥の人気給食メニューです。

おおいた和牛は牛井やすき焼きとして登場しました。



「ふるさと給食 & 学校給食1日まるごと大分県」

ドジョウのから揚げ



宇佐学校給食センター

南部学校給食センター

ふるさと給食は院内町の宇佐養魚株式会社さんのドジョウを使用しました。泥なしの環境で育てられたドジョウは臭みがなく柔らかいと評判です。

このドジョウをはじめ、すべて大分県産の食材を使用しています。